

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
堺区「自転車のまち」推進事業			堺区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	R2	R3	R4	
歴史的に自転車と関係が深い堺区で、堺区在住の幼児を対象に自転車関連事業を実施し、幼少期からヘルメット着用をはじめとする安全な自転車の乗り方の意識付けを行うと共に、堺区内外に「自転車のまち・堺」としてのイメージを発信し、シビックプライドの醸成へつなげる。	堺区在住のほとんどの3歳児が集まる3歳児健診の際に、職員がヘルメット着用の必要性を保護者に説明しながら、ヘルメットを配付することで、効率よくヘルメットを供給し、ヘルメット着用の意識付けができる。 主に本事業でヘルメットをもらった幼児を対象にはじめての自転車乗り方教室を実施し、安全な自転車利用を促進するとともに、「自転車のまち・堺」のPRにつなげることができる。	保護者のヘルメットの着用率(%) 【自転車教室のアンケートデータ】	18.8			
		自転車教室の参加者数(人)	115			
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ 幼少期から堺区と歴史的に関係が深い自転車を身近に感じることを通して、自転車が堺の誇れる資源であることに気づくことで、郷土愛醸成につながる事が期待できる。 自転車関連事業を通じて、自転車マナーの向上を図り、安全・安心なまちづくりに寄与することが期待できる。	△ 現状行政主体で実施しているが、区民や、ボランティア団体等との協働も検討する必要がある。	○ 市民交流広場で、はじめての自転車教室を開催することで、安全な自転車利用を促進するとともに、「自転車のまち・堺」のPR効果につなげられている。	○ 堺区在住のほとんどの3歳児が集まる3歳児健診の機会を利用することで、効率的にヘルメットを配付できている。また配付の際に職員がヘルメット着用の必要性を保護者に説明することで、着用の意識付けができている。			
⑤自立発展性	総合評価					
— 区がヘルメットを購入し、3歳児へ無償配付し、着用意識の向上に努めている。行政からの無償配付のため、自立発展の可能性は低い。	○ 保健センターでのヘルメット配付では、健診参加者の9割以上の方が配付を希望し、ヘルメット着用の必要性などの啓発も行うことでヘルメットの着用率の向上につなげることが期待できる。一方で、配付後の使用状況の把握が困難なため、着用率の調査につなげられる実施方法の検討が必要である。 2回実施した自転車教室は両日ともに参加希望者が定員を満了し、実施後アンケートの参加者満足度は非常に高い数値であった。教室の開催数、参加定員を増やすことを検討する。					
拡充 継続 見直し 廃止	次年度もヘルメット配付と、自転車教室を引き続き実施する。 ヘルメット配付では配付方法を再考し、配付後の交通マナーの啓発や着用率調査を実施することで、更なるヘルメット着用の意識付けにつなげる。 自転車教室は教室の開催数、参加定員を増やし、より多くの幼児に安全な自転車利用を促進する。					